

造影剤を用いる検査の説明と同意について

今回実施する検査は、「造影剤」というお薬を注射して行う予定です。造影剤を用いることにより、病気の状態をより正確に明らかにし、治療をしやすくします。造影剤を使用しなくても検査はできますが、精密な検査ができず病気がみつからない場合があります。また、造影剤を用いることに同意いただいている場合でも病気の性質、その他医学的な理由の為、造影剤を用いない場合があることをご了承ください。

造影剤は安全な薬ですが、まれに副作用が起こることもあります。副作用の種類は次のようなものです。

- 1) [軽い副作用] 吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、発疹などで、基本的に治療を必要としません。このような副作用が起こる確率は約5%以下です(100人につき5人以下)
- 2) [重い副作用] 呼吸困難、血圧低下、意識障害などです。このような副作用は治療が必要で、後遺症が残る可能性があります。そのため、入院や手術が必要なこともあります。このような副作用が起こる確率は約0.1%です(約1000人につき1人)
- 3) 非常にまれですが、病状・体質によっては約10～20万人につき1人の割合で亡くなる場合もあります(0.0005%～0.001%)
- 4) 尚、以前に造影剤を用いる検査を受け、副作用のなかった方でも副作用が起こる可能性があります。
- 5) 造影剤を注射するときは、体が熱くなることがありますが、血管に対する直接の刺激で正常な反応であり、心配いりません。数分で消えます。
- 6) 造影剤を勢いよく注入するため、まれに血管外に漏れることがあります。漏れた部位が腫れて痛みが持続することもあります。通常は自然に吸収されてくるので心配ありません。漏れた量が非常に多い場合は、別の処置が必要になることもあります。非常にまれです。

造影検査中は、佐々総合病院のスタッフ(看護師や主治医、放射線科技師など)が常に観察しており、何か異常が現れた場合はすぐに中止し、適切な対処をいたします。異常だと感じたら、ためらわず、すぐにおっしゃって下さい。

説明医療機関名

説明医師

私は、造影剤を用いる検査とその危険性(副作用等)について納得しましたので、造影剤を使用すること及び、緊急処置の必要が生じた場合に適切な処置を受けることについて 同意します 同意しません

平成 年 月 日

患者氏名(署名)

または代理人(署名)

続柄

平成24年11月1日 作成佐々総合病院